

経営比較分析表（平成30年度決算）

神奈川県 山北町

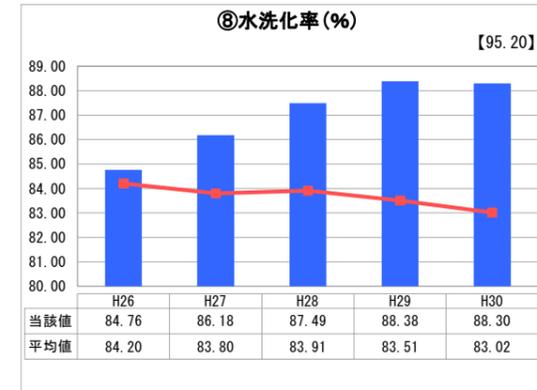
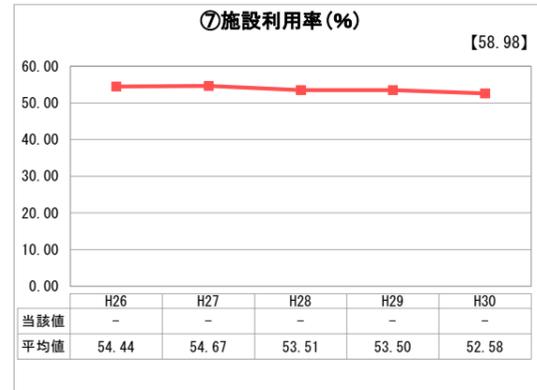
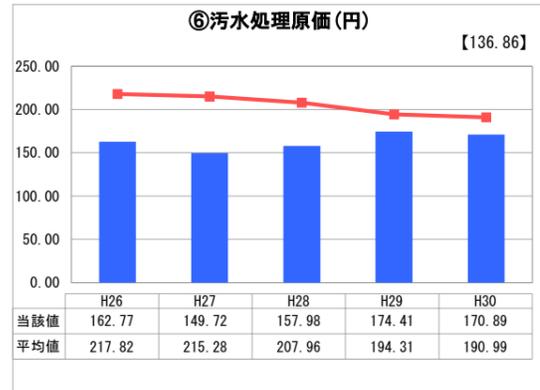
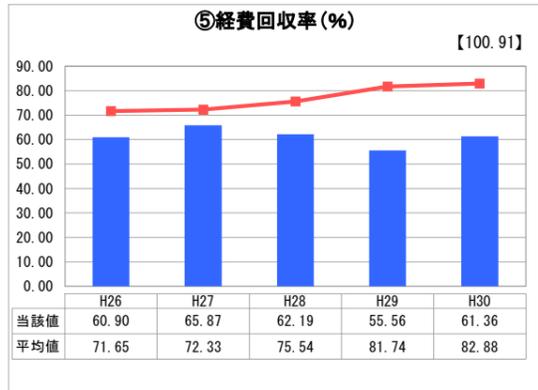
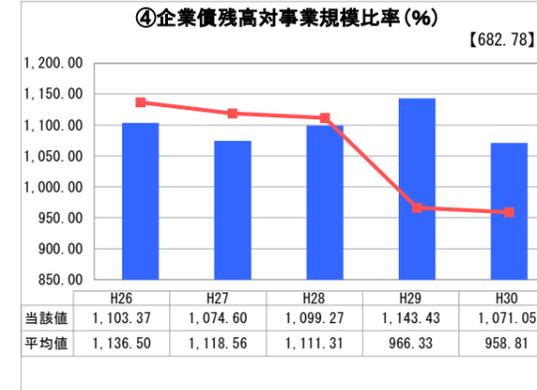
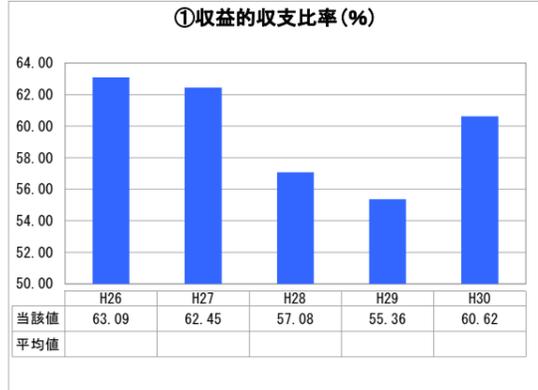
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	82.61	94.75	1,458

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,308	224.61	45.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,455	3.15	2,684.13

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

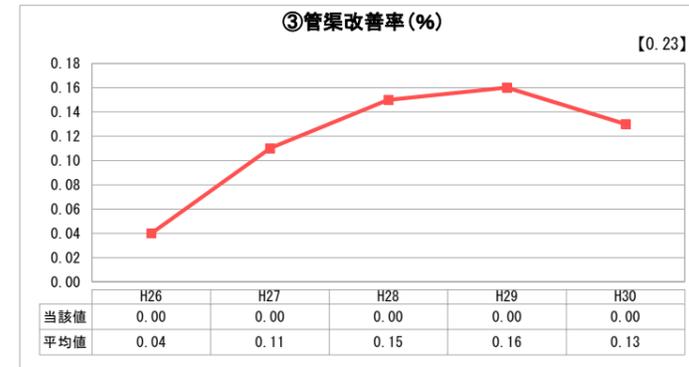
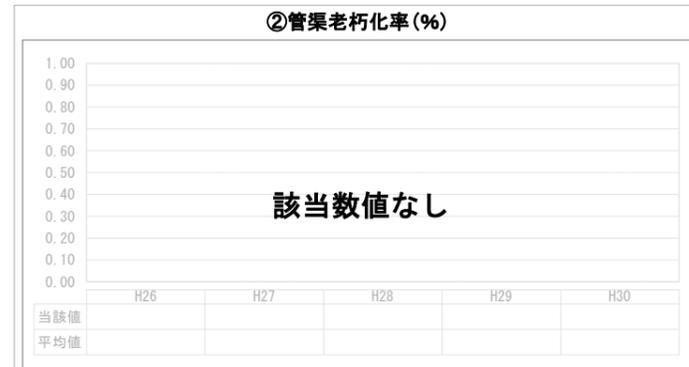
平成30年4月に使用料を平均改定率で12%の値上げを実施した結果、収益的収支比率が前年度55.36%に対し60.62%、経費回収率が前年度55.56%に対し61.36%となり上昇はしておりますが、依然、下水道使用料だけで汚水処理に係る経費を賄うことが出来ないため、一般会計繰入金等で補っている状況です。今後も収入増加に向け段階的に使用料の見直しを検討してまいります。

水洗化率については、類似団体の平均値よりは上回っていますが、使用料収入の更なる増加に向け、水洗化率向上のための啓発等を行ってまいります。

2. 老朽化の状況について

当町の下水道汚水管渠の布設は、一部地域を除いて平成元年から行っています。現在耐用年数を迎えている管渠はありませんが、平成元年より前に布設された管渠がこの先10年程度で耐用年数を迎えるため、既存の管渠や施設の適正な維持管理と点検、及び老朽化した管渠の更新を進められるよう、平成30年度からストックマネジメント計画の策定に着手しています。

2. 老朽化の状況



全体総括

収益的収支比率、経費回収率ともに100%に達しておらず、今後はより厳しい経営状況となることが見込まれます。また、一定時期に集中して布設を行ってきたため、管渠の更新時期が重なることや維持管理費用の増大が見込まれることから、効率的な更新と維持管理を行えるようストックマネジメント計画を策定します。

また、下水道事業の健全な運営のために、使用料を見直し、審議会も継続して行っていく予定です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。